

鈴鹿市告示第160号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項前段の規定に基づき、上下水道事業管理者から水道事業の業務の状況を説明する書類が提出されたので、同項後段の規定により次のとおり公表する。

令和7年6月23日

鈴鹿市長 末松 則子

1 事業の概要

(1) 給水戸数

89,975戸

(2) 総配水量

11,797,874 m³

(3) 一日平均配水量

64,823 m³

(4) 当期の主な工事

ア 開発工事に伴う配水管布設工事など	148,171千円
イ 水道更新事業に伴う送配水管布設工事など	955,460千円
ウ 送配水施設等設備改良に伴う取替工事など	6,512千円

2 経理の状況

(1) 令和6年度予算の執行状況

収益的収入及び支出

収入

(単位 円)

款	項	予 算 現 額	執 行 額	
			上 半 期	下 半 期
水 道 事 業 収 益	営 業 収 益	3,912,100,000	2,003,390,033	1,996,835,110
	営 業 外 収 益	657,111,000	314,291,660	341,739,277
	特 別 利 益	1,540,000	43,000	581,210
合 計		4,570,751,000	2,317,724,693	2,339,155,597

支出

(単位 円)

款	項	予 算 現 額	執 行 額	
			上 半 期	下 半 期
水 道 事 業 費 用	営 業 費 用	3,961,530,000	1,584,549,944	2,173,817,626
	営 業 外 費 用	333,205,000	67,795,968	207,993,012
	特 別 損 失	6,704,000	2,412,470	1,372,037
	予 備 費	10,000,000	0	0
合 計		4,311,439,000	1,654,758,382	2,383,182,675

資本的収入及び支出

収入

(単位 円)

款	項	予 算 現 額	執 行 額	
			上 半 期	下 半 期
資 本 的 収 入	企 業 債	446,600,000	0	245,900,000
	固定資産売却代金	10,000	0	738,619
	負担金及び分担金	567,820,000	110,467,900	195,032,391
	国 県 支 出 金	56,546,000	0	47,097,000
	他 会 計 支 出 金	22,388,000	745,300	23,546,208
	その他資本的収入	0	508,024	0
合 計		1,093,364,000	111,721,224	512,314,218

支出

(単位 円)

款	項	予 算 現 額	執 行 額	
			上 半 期	下 半 期
資 本 的 支 出	建 設 改 良 費	2,555,280,000	465,580,768	1,285,186,099
	償 還 金	926,138,000	461,090,924	465,047,068
合 計		3,481,418,000	926,671,692	1,750,233,167

(2) 財務表

ア 令和6年度水道事業損益計算書

(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 円)

借	方	貸	方
1 営業費用	2,086,216,958	1 営業収益	1,816,672,344
(1) 原水及び浄水費	474,495,719	(1) 給水収益	1,797,882,653
(2) 配水費	132,286,221	(2) 受託工事収益	12,006,782
(3) 給水費	109,025,624	(3) その他営業収益	4,249,100
(4) 受託工事費	9,785,804	(4) 他会計負担金	2,533,809
(5) 業務費	123,648,311		
(6) 総係費	337,337,676	2 営業外収益	336,716,048
(7) 減価償却費	859,773,784	(1) 受取利息及び配当金	4,708,350
(8) 資産減耗費	39,863,819	(2) 他会計補助金	1,036,610
		(3) 雑収益	55,046,219
2 営業外費用	88,767,827	(4) 長期前受金戻入	275,924,869
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	63,906,616		
(2) 雑支出	24,861,211	3 特別利益	581,210
		(1) 固定資産売却益	581,210
3 特別損失	1,186,898		
(1) 固定資産売却損	1,054,146	当期純損失	22,202,081
(2) 過年度損益修正損	132,752		
合計	2,176,171,683	合計	2,176,171,683

イ 令和6年度水道事業貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位 円)

借 方		貸 方	
1 固 定 資 産	44,111,642,959	1 固 定 負 債	11,436,897,901
(1) 有 形 固 定 資 産	44,109,964,629	(1) 企 業 債	10,836,601,901
ア 土 地	1,083,702,076	ア 建設改良等企業債	10,836,601,901
イ 建 物	2,903,613,618	(2) 引 当 金	600,296,000
ウ 構 築 物	77,185,363,671	ア 退職給付引当金	600,296,000
エ 機 械 及 び 装 置	4,431,157,664		
オ 車 両 運 搬 具	49,122,651	2 流 動 負 債	1,579,738,733
カ 工 具 器 具 及 び 備 品	100,325,439	(1) 企 業 債	912,904,257
キ 減 価 償 却 累 計 額 △	41,923,825,543	ア 建設改良等企業債	912,904,257
ク 建 設 仮 勘 定	280,505,053	(2) 未 払 金	343,320,125
		(3) 前 受 金	720,659
(2) 無 形 固 定 資 産	1,659,000	(4) 引 当 金	44,764,000
ア 電 話 加 入 権	1,659,000	ア 賞 与 引 当 金	37,396,000
		イ 法定福利費引当金	7,368,000
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	19,330	(5) そ の 他 流 動 負 債	278,029,692
ア リサイクル預託金	19,330		
		3 繰 延 収 益	12,361,469,477
2 流 動 資 産	4,480,700,633	(1) 長 期 前 受 金	26,477,880,248
(1) 現 金 預 金	3,970,900,973	(2) 長期前受金収益化累計額 △	14,116,410,771
(2) 未 収 金	441,844,218		
貸 倒 引 当 金	△ 3,085,000	4 資 本 金	22,033,630,275
(3) 貯 蔵 品	14,940,442		
(4) 前 払 金	56,100,000	5 剰 余 金	1,180,607,206
		(1) 資 本 剰 余 金	13,220,245
		ア 受 贈 財 産 評 価 額	9,415,714
		イ 工 事 負 担 金	3,066,634
		ウ 国 県 支 出 金	689,200
		エ 他 会 計 支 出 金	48,697
		(2) 利 益 剰 余 金	1,167,386,961
		ア 建 設 改 良 積 立 金	200,000,000
		イ 当期末処分利益剰余金	967,386,961
合 計	48,592,343,592	合 計	48,592,343,592

3 令和7年度水道事業会計予算の概要及び事業の経営方針

(1) 予算の概要

業務の予定量

給 水 戸 数	89,972 戸
年間総配水量	22,922,000 m ³
1日平均配水量	62,800 m ³
主要な建設改良事業 水道更新事業	1,421,341 千円

収益的収入及び支出

(単位 千円)

収 入		支 出	
第1款 水道事業収益	4,559,612	第1款 水道事業費用	4,230,659
第1項 営業収益	3,895,356	第1項 営業費用	3,890,007
第2項 営業外収益	662,716	第2項 営業外費用	323,861
第3項 特別利益	1,540	第3項 特別損失	6,791
		第4項 予備費	10,000

資本的収入及び支出

(単位 千円)

収 入		支 出	
第1款 資本的収入	878,812	第1款 資本的支出	2,843,980
第1項 企業債	515,100	第1項 建設改良費	1,931,075
第2項 固定資産売却代金	20	第2項 償還金	912,905
第3項 負担金及び分担金	282,794		
第4項 国県支出金	56,873		
第5項 他会計支出金	24,024		
第6項 その他資本的収入	1		

(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,965,168千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額127,729千円、減債積立金77,708千円、建設改良積立金50,000千円及び過年度分損益勘定留保資金1,709,731千円で補填するものとする。)

(2) 事業の経営方針

水道事業は、日常生活に欠かすことのできない社会基盤として重要な役割を担っており、将来にわたって安定的に事業を継続していくために中長期的な視点に立った経営の基本計画として策定した鈴鹿市上下水道事業経営戦略に基づき、管路や施設の更新工事等を計画的に実施するとともに、更なる経営健全化に向けた取組を検討し、効率的な事業運営に努める。